審判上の確認事項

審判委員長　　我謝　正精

1. 本大会は、202 3 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則及び監督会の申し合わせ事項を適応する。
2. 本大会は、ワンボールシステムでおこなう。
3. 試合前の公式練習は、3 分間ずつとする。ただし、両チーム合意の場合は、6 分間の合同練習を認める。（当該チームがその日の 2 試合目になる場合，公式練習は行わない。）
4. ラインアップシートが副審または記録員にいったん提出されたなら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することは認められない。キャプテンは試合終了後も記録用紙にサインを行うこと。
5. 監督は、記録席に一番近い席に位置し、ラリー中はベンチに座ること。
6. 競技中に、タイムアウトの要求ができるのは、監督のみである。その際には、必ず公式のハンドシグナルを明確に行うこと。
7. 部長、監督・コーチ・マネージャーは定められた服装を着用し、左胸にワッペンを着用すること。
8. 控え選手のアップは、アップゾーンで行い、ボールは使わない。ただし、セット間におけるコート外でのボールの使用は認める。
9. コートのワイピングについて、コート内の選手で行う。（ハンドタオルなどを持参）タイムアウトやセット間は各チームでモップがけを行っても良い。
10. 競技参加者は、審判員の決定に対し、スポーツマンらしく反論せず、受け入れなければならない。質問がある場合には、ゲームキャプテンを通じてのみ説明を求めることができる。
11. 遅延行為は、該当する試合が終了するまで加算され、チームに制裁が適用される。
12. 例外的な選手交代についての対応（正規な選手交代が不可能な場合の選手交代）は、交代された選手は、この試合は出場できない。但し正規の選手交代とは数えない。
13. リベロについて
    ① リベロは、１試合２人まで登録することができる。また、リベロは登録しなくてもよい。
    ② リベロは、セット間で登録を変更することはできない。
    ③ リベロは、試合ごとに変更できる。
    ④ リベロは、セット開始前の行われる、ラインナップの選手確認が終了後、コートに入る。
    ⑤ サービス許可の吹笛後に行われる交代は、サービスを打つ前では拒否されないが、そのラリー終了後口頭で注意される。同一試合中に繰り返した場合は、遅延に対する罰則の対象となる。
    （遅延警告　⇒　遅延反則）※サービスを打った後に交代が行われた場合はポジショナルフォルトの反則となる
    ⑥ リベロ選手は、他のチームメンバーのユニフォームと対照的な色のユニフォームを着用するか、ビブスをつける。
    ⑦ リベロ選手を２人登録しビブスを使用する場合、お互いがはっきり違う色をつける。
14. 競技者は、ケガの原因となるような物を身につけることは禁止される。また、装身具等がプレー中にはずれ、そのことでゲームの進行が遅れたときは遅延の警告・反則となる。